

# 石川県ふれあい昆虫館 中期経営目標

(実施期間 平成29年度～平成33年度)

平成29年3月 策定

## 1 施設の設置目的

昆虫とのふれあいを通じ、人間と自然との関わりや生命の営みの大切さを学ぶ機会を提供することを目的としています。

## 2 施設の果たすべき役割

昆虫の生態を観察したり、昆虫とふれあうことによって、人間と自然の関わり合いや生態系のしくみを理解し、自然に対する感性を養うことを役割とします。

## 3 事業内容

### (1) レクリエーションの提供

大人から子供まで、全ての入館者に安らぎと癒しを与え、楽しく遊ぶことができるレクリエーションの場を提供します。

### (2) 教育普及活動

自然の営みの素晴らしさを生きた昆虫を通して知ってもらう教育活動を実施します。

### (3) 種の保存

イカリモンハンミョウ、シャープゲンゴロウモドキ、マルコガタノゲンゴロウなど、絶滅の危機に瀕した地域の希少昆虫の保護増殖を行います。

## 4 現状と課題

### (1) 管理運営体制について

- ・ 民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・ 施設利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、物品の維持管理及び修繕に関する業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成29年度から平成33年度までは、「石川県県民ふれあい公社」を指定管理者として指定しています。
- ・ 県では、利用状況や利用者からのご意見、修繕の実施状況等の管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、適正な管理運営が行われるよう、運営指導や財政支援を行っています。

## (2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・ 亜熱帯の自然を再現した放蝶館「チョウの園」などで生きた昆虫の展示を冬期も行っており、好評を得ていることから、今後さらに多くの展示ができるよう飼育技術の向上を図る必要があります。
- ・ 絶滅の危機に瀕した昆虫の保護繁殖について実績をあげていることから、今後も繁殖技術の向上を図るとともに、保護の必要性について啓発する必要があります。
- ・ 来館者数が減少する冬期には「オオゴマダラのクリスマスツリー」など季節ならではの企画展示を行うなど、今後も工夫を凝らした展示を行う必要があります。
- ・ 利用促進に向けてパンフレットやポスターを作成し、学校や公民館へ配布するとともに、ゴールデンウィークや夏休み前には新聞・雑誌広告やテレビCM等によって情報発信を行っておりますが、今後とも情報発信の充実に努めていく必要があります。
- ・ 平成28年度には、電子マネー・クレジット端末を導入したところであり、今後とも来館者のニーズを踏まえたサービスの向上に努めていく必要があります。

## (3) 施設運営の効率化について

- ・ 来館者のニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、県と指定管理者間で情報を共有し、連携して効率的な施設運営に努めています。
- ・ 今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを来館者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を5年間で110,000人にします。
- ②利用者アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		実績値(H27)	目標値(H33)
①利用者数		103,952人	110,000人
②利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	99.8%	95%以上
	施設の維持管理	99.4%	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・年間を通じて蝶が舞う姿を見ることの出来る「チョウの園」(放蝶温室)では、月間放蝶数10種1000匹を目標として飼育技術の向上を図ります。
- ・種の保存のさらなる推進については、石川県において絶滅の恐れのあるイカリモンハンミョウやシャープゲンゴロウモドキの生息域外保全事業にも積極的に取り組みます。

また、これらの取り組みを来館者に分かりやすく紹介することにより、生物多様性の重要性や自然との共生の大切さなどを学ぶ場としても充実を図ります。

- ・展示方法については、五感に訴えた体験展示を行うとともに、ゴールデンウィークや夏休みには人気のある外国産昆虫の展示、冬期には「オオゴマダラのクリスマスツリー」などの季節ならではの企画展示を行うなど、引き続き工夫を凝らします。
- ・各展示施設や昆虫の魅力、イベントをホームページやメールマガジン、広報誌「むしかご通信」などの各種媒体を活用し、的確かつタイムリーに発信します。
- ・館内に休憩用のイスの設置や空調設備の整備など、来館者のニーズも踏まえた利便性の向上を図るとともに、野外生態園にとんぼ橋を設置し、野外で昆虫の生態を観察できる環境を整備するなど、施設のさらなる魅力アップに努めます。

### (2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・指定管理者が管理運営する他の類似施設と連携したPRの実施や、計画的な維持補修を行い、施設運営の効率化と利用者サービスの向上を図ります。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

項目	H25	H26	H27
入園者数 (人)	97,963	99,604	103,952

(2)使用許可等の状況

該当なし

(3)使用料の収入実績

項目	H25	H26	H27
入園料 (千円)	19,419	19,918	20,796